



# “鴨川探検！再発見！”見聞録



～第37弾「秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」の巻～

“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、治水や防災、河川愛護や自然環境保全への関心を広げるために企画しました“鴨川探検！再発見！”のシリーズ第37弾「秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」を開催しました。

小学生と保護者32名が、北山大橋周辺の高水敷を散策しながら水辺の生物や植物、野鳥等を観察しました。草笛を奏で、どんぐりで作ったこまを回し、エノキの実を食べるなど、自然を体験しました。そのあと、網を片手に川に入って魚などを捕まえました。漁協組合長の投網によりナマズが捕獲され、子供たちは大興奮でした。参加者には秋の鴨川を楽しんでいただけました。

## ●自然観察会(北山大橋周辺)

ヤマブキの茎で  
てっぽうに挑戦



北山大橋を出発！  
自然観察開始です



土壌を調査  
何か隠れてるよ



どんぐりのこま回れ、回れ

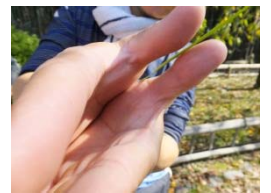
草の葉で笛を吹いてみよう



何かいるかな



勢いのある投網に大興奮!!です



草笛はこのように吹きます

## ●まとめ



コオロギ



ナマズ



ヘビトンボ



オイカワ

みんなで調べた生きものや植物の  
ことを教えてもらったよ

■ 日 時 平成26年10月26日 日曜日 午前10時から12時まで(天候 はれ)

■ 場 所 鴨川北山大橋周辺

■ 参加者 子ども(小学生)18名、保護者14名の計32名



[講師:NPO自然観察指導員京都連絡会]

